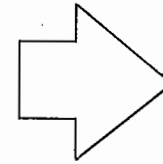


■ ヒアリング活動にむけての調整事項

●バラエティチャンネルの店頭状況をもとに、ヒアリング活動について必要事項を調整します

1. セルフ什器で動く“アイテム”の可能性

- ・トータルケアからメイキャップまで、各種ブランド参入が活性する実状の中でチャンネル側から見て、“売れる”ケアラインナップ、“動く”アイテムを具体的に抽出したい

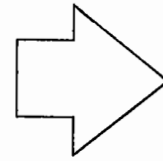


- ・どのようなラインナップを持つブランドが望まれるのか
- ・中でもどのアイテムに注目するのか

(※ラインナップ展開の仮説の有無)

2. 一般什器と専用什器差別化のポイント

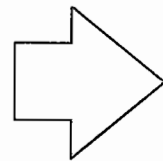
- ・現状ではメイキャップブランド中心の専用什器の今後の可能性をどう考えるのか。
- ・ボディケア、スキンケア、ヘアケア、トータルケアの視点から専用什器を入れ込む可能性、問題点を検証したい。



- ・一般什器、専用什器棲み分けのポイントは何か？
- ・一般什器から成長を望むアイテム、ブランドラインナップは？

3. バラエティチャンネルの可能性

- ・ドラッグストア、コンビニドラッグが台頭する中、定価販売のバラエティチャンネルの可能性、その中でのアイテムの可能性について。
- ・バラエティにおけるコスメタリーの今後



- ・バラエティの現状認識と今後のあり方について
- ・バラエティにおけるコスメタリーの位置付け

(※ドラッグ系チャンネルの中でセルフコスメタリーに注力する店舗へのヒアリングの必要性)